

国営かんがい排水事業「駅館川地区」

事業の目的

昭和39～54年度に実施された国営駅館川土地改良事業（前歴事業）により造成されたダム、用水路等の農業水利施設は、造成後40年以上が経過し、老朽化により、ダムにおいてはゲートの腐食や放流施設の漏水、用水路等においてはコンクリートのひび割れが生じているなど、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理及びほ場の水管理作業に多大な費用と労力を要しています。

このため、本事業において、老朽化が進行している農業水利施設の改修に併せて、パイプライン化などの水利システムの再編と耐震のための整備を一体的に行い、農業用水の安定供給、維持管理の費用と労力の軽減を図り、併せて農業生産性の向上、農業構造の改善及び農地集積の促進を図ることを目的としています。






事業の概要

○事業主体
国（農林水産省）

○関係市町
大分県宇佐市

○受益面積
約5,600ha

○主要工事
ダム（改修）
頭首工（改修）
用水路（改修）
水管理施設（改修）

凡例	
	ダム
	頭首工
	用水路
	受益地（水田）
	受益地（畑）



令和9年度の着工を目指し、調査、事業計画の策定等を進めています。

事業のメリット

地域の現状

- 前歴事業で造成された施設は、造成後40年以上が経過し、老朽化により、農業用水の安定供給に支障を来すとともに、維持管理に多大な費用と労力を要しています。
- 配水のための関係者間調整が複雑であることや、分水量が把握できない施設があるため、用水の不均衡による無効放流や用水不足が発生しています。
- ダムにおいては、大規模地震が発生した場合、施設が損壊し農業生産に甚大な影響を及ぼすおそれがあります。

国営事業の実施

ダムの耐震対策



耐震対策（押え盛土）

用水施設の機能保全対策



幹線用水路の補修



頭首工の補修

用水施設の機能向上



整備前



整備後（分割化）

水利システムの再編



既設水路のパイプライン化

用水管理施設の整備



水管理システム
（ICT導入）



分水門の電動化・遠隔化

事業実施による効果

- ◎将来の営農を見据えた水利用の再編による水の有効利用と用水不足の解消
- ◎ICTの導入・用水管理の高度化による維持管理の費用と労力の軽減
- ◎国営事業で短期、集中的に実施することによる事業効果の早期発現